

ROTCARY CLUB OF NARITA AIRPORT MINAMI DISTRICT 2790

WEEKLY BULLETIN 国際ロータリー第2790地区第6分区
創立 昭和11年10月6日 承認 昭和41年11月21日

成田空港南R.C. 会長テーマ
小さな親切

例会日時 毎週木曜 12:30点鐘
(最終例会 18:30点鐘)
例会場 中国ダイニク富士屋

さすな
絆

事務局 〒280-1792 千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6 URL <http://www.narita-airport-m-re.jp>
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178 E-mail info@narita-airport-m-re.jp

第2790地区ガバナー 中村 博真 第6分区ガバナー補佐 四之宮 由己

平成21年10月1日発行 NO.1905 第2033例会 会長 鈴木 恭一 幹事 古西 弘和 会報担当 伊藤 元雄

例会報告(平成21年10月1日)

点 鐘 会 長 鈴木恭一
ソ ン グ 「君が代」
「奉仕の理想」
唱 和 「四つのテスト」
会 長 挨拶 会 長 鈴木恭一
会 務 報 告 会 長 鈴木恭一
幹 事 報 告 幹 事 古西弘和
プ ロ グ ラ ム

第一例会につき 結婚・誕生祝い
お客様紹介
第6分区ガバナー補佐 四之宮 由己様
米山奨学生 ゲン・クアン・カン様
各委員会報告

会長挨拶



皆さん こんにちは。
10月に入りましての第1例会でございます。
先週の京カントリークラブで行われた観月会に、51名の大勢の会員とその家族の皆様にご参加をして頂き、楽しい親睦が深められた事と思います。各委員長はじめ、皆様に感謝申し上げます。今月、誕生日・結婚記念日を迎えられた会員の皆様おめでとうございます。

今月のロータリー月間は「職業奉仕 米山月間」であります。ロータリーの職業奉仕の理想を实践し、米山奨学事業発展・継続をさせる為にご理解とご協力が必要です。

本日のご来訪者と致しまして、第6分区ガバナー補佐の四之宮由己様と大綱ロータリークラブで世話クラブを致しております、米山奨学生ゲン・クアン・カンさんに卓話をお願いした所、快くお受けいただき本日の卓話をしていただくことになりました。よろしくお願い致します。

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。

事業の使命は、将来日本と世界とを学ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

10月の誕生・結婚記念祝

「誕生祝」 内田裕雄会員
川島宥会員

「結婚記念祝」 小川佐内会員
富一美会員
小杉秀文会員



「乾杯」
第24代会長
渡辺 晃

平和を愛し、青少年に手を差し伸べた“日本ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として、1952年、東京ロータリークラブは日本で学ぶ外国留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがてそれは、日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、1967年にロータリー米山記念奨学会が設立されました。

50年有余の歴史を持ち世界に類を見ない日本独自の多地区合同奉仕活動となっています。

現在では、民間として日本では最大級の奨学会制度となっています。この事業は1人でも多くの留学生を迎い入れ、平和の懸け橋となって頂く為の奉仕作業でございますので、皆様方のご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

■ 会務報告

1) 9月25日 第3回 会長・幹事会が東金ロータリークラブをホストとし、東金 志津本にて行われました。

鈴木と古西幹事で行って参りました。

2) 10月9日 ロータリー広報、情報研究会に会長、幹事他、各委員長、又、ロータリー入会5年未満の会員の参加をお願いします。

鈴木会長・古西弘和幹事・森川忠会員
内田裕雄会員・菅井直秀会員・富一美会員
小林定雄会員・石田喜一会員・高田一行会員
大塚克人会員

以上10名の参加者です。

3) 6分区内 各クラブ社会奉仕委員長会議開催のご案内が届いています。

日時 10月14日(水)
場所 茂原 大和屋旅館
会費 1人 5,000円(何人でも可)

4) 地区指導者育成セミナーのご案内が届いていません。

日時 10月24日(土)
場所 ザ・クレストホテル柏 4F
クラブ代表 1名

■ 理事会報告

第4回定例理事会

日時：平成21年10月1日(木) 11:00

場所：成田空港南R.C事務所

出席者

役員：鈴木恭一・森川忠・小林定雄・古西弘和
伊藤迪彦

理事：川島宥・内田裕雄・菅井直秀・向後雅生
土屋俊夫・越川博光

議題

1. 9月分会計報告の件

伊藤会計委員長より報告があり承認されました。

■ 幹事報告

①地区大会追加登録のお願いのFAXが届いております。

②『友』インターネット速報2009年9月29日No.399が届いております。

③10月のロータリーレートは、1ドル=90円です。

④週報受領クラブ

・東金R.C. ・茂原R.C. ・茂原東R.C.
・大網R.C. ・茂原中央R.C.

⑤活動計画書受領クラブ

・東金R.C.

■ 委員会報告

◇ クラブ管理運営委員会



委員長 小林 定雄

先週の観月会・ゴルフ会には、お忙しい中ご参加頂きましてありがとうございました。特に観月会には、会員家族含めまして51名の方にご参加頂き、親睦を深められ、盛況に終ることが出来ましたことを厚くお礼申し上げます。

※ 収支報告がありました。

卓話

米山月間にあたり

米山記念奨学会地区委員
第6分区ガバナー補佐（大綱RC）
四之宮 由己 様



私達地区委員の仕事はたくさんありますけれども、何と申しましても米山記念奨学会の財源であります寄付金のお願いが第一の仕事でございます。

配布いたしましたハイライトよねやまをご覧頂くと分かりますが、今年度全国での寄付金総額明細表を見て頂くと14億5千万円、昨年度よりわずかに上回ったと書いて有ります。会員減少の中にも拘らず少しでも上回ったという事は嬉しい事でございます。

2790地区では全国34地区で昨年は20位、今年度は19位ですが、関東地区では最下位です。

受け入れ奨学生は前年度21名でしたが、今年度は23名の奨学生数となっております。地区からの寄付金の額によって奨学生数は決まります。1人でも多くの奨学生を受け入れることが出来ます様皆様方のご協力を宜しくお願いいたします。

米山奨学事業を理解するには奨学生の話聞き、レポートを見る事が一番の近道でございます。

私のクラブで世話クラブをした奨学生のレポートを引用しますと、どの奨学生にとっても日本は憧れの国、夢の国で有ります。

経済大国、技術大国、自由主義の国、敗戦から立ち直った国、きれいな富士山のある国等、日本に留学したい学生は普通だと思います。

しかし、日本に来てみるとあまりにも考えてきた事とのギャップになやませられてショックに陥ってしまうようです。

つまり言葉の壁、文化の違い、アパート代、月謝代、生活費等の物価高に気が付き、アルバイトに若さを持って耐えて来たものの、異国に居る淋しさや、精神的な孤独に耐えるには大変な努力が必要となります。

途中でやめるか、やめないか迷ったあげく、科学者になりたい夢を捨てきれなかったため、留学をやめることができませんでした。しかし米山奨学生になって自分の世界が変わりました。それによって私が人間に対し新しい感情が出来、日本及び日本人に対して新しい解釈が出来たのです。そして社会人になった後、私は会社の仕事以外に、ロータリーの目指す国際親善、理解交流を通じて国際平和に全力を尽くし、取組んで生きたいと書いてあります。

私も他の奨学生からいろいろな苦労話を聞いております。100円玉数個で1週間を生活した事、又、こうして卓話に行った時に、生活の為にアルバイトをした時の苦労を思い出し、話ししている時に急に泣き出したという話も聞いております。

又、薬学研究の奨学生からは、奨学金を頂いたお陰で、研究に打ち込めます。このご恩は一生忘れません。成功したら米山奨学会へ寄付したいと言っていたそうです。

この様に、ロータリアンの奉仕の精神に感謝の言葉は尽きません。ロータリアンは何故こんなに親切にしてくれるのか、アルバイトの苦しみのあとだけに心を打たれ、感銘し、日本及び日本人に対して新しい感情が出来、自分の人生が変わったとも言っております。そして自分達も将来この様な立派な人になろうと思う様になります。

米山事業に携わる様になって、私は二人のバスターガバナーから素晴らしい言葉を聞く事が出来ました。

一人は平山バスターガバナーです。

米山奨学生にも卒業式が3月にあります。その時の話に「ロータリーは見返りを求めません」皆さんは奨学金を頂いたから何をしなくてはならないという事は何にもありません。どうぞ自由に使って日本を楽しんで下さい。そして日本を好きになって下さいとおっしゃっておりました。

あと1つ平山さんは、人は「恩返し」でなく「恩送り」をなささいと言っております。すなわち親から受けた恩は返しきれものではありません。又、例えば米山奨学生がロータリアンにお世話になった事を返そうとしても返しきれものではありません。「恩送り」とは人にお世話になった様な事を他人にしてあげる、それが「恩送り」ですとおっしゃっておりました。

又、土屋亮平パストガバナーは「奨学事業に携わる者は、結果を早く求めてはいけません。」二十年、三十年後に母国に帰って、子や孫、そして周りの方々に、私は過去に日本で奨学金を頂いて生活していた時期がありました。日本にはロータリアンという素晴らしい方々がたくさん居りますよと、話してくれただけでそれでいいではないでしょうか。

今は種を蒔き、やがて花になり、実となって結果が出る事です、とおっしゃっていた事が私の心に残って居ります。米山事業は素晴らしい事業です。

この米山奨学事業を考えられた、東京ロータリークラブの方々の先見性、心の広さに改めて敬意を表する次第であります。

米山奨学生（千葉大学）
グエン クアン カン
NGUYEN QUANG KHANG 様



高校卒業して、新しい大学生の生活は私の目の前にあった。しかしちょうどそのとき、東遊日本語学校の募集要項を見た。「東遊」とはベトナムの青年たちの愛国者が集って自国の独立のために日本の援助を求め、日本留学するという有名な二十世紀のはじまりからの運動だ。（当時ベトナムはフランスの植民地だった）現在ベトナムはもう独立しているが、あまりの後進国なので、先進国に留学して、帰って国を発展させる若者が必要だと私はこの運動から覚悟した。世界でもっとも発展している日本に留学するチャンスもあり、母国に貢献できるという人生の一番意義がある道を歩むことができると思い、日本に留学することを決めた。「東遊」留学運動を創立した人のお墓に参ったとき、「先輩、お休みなさい。私たちは後輩として、この道を歩き続けて、ベトナムが必ずどの国にも負けない立派な国を実現させます」と私は誓った。

日本に来て、日本のすばらしい教育を勉強するだけでなく、実際に生活して、視野や社会の枠組みも広められたため、国内に居たのでは分からないベトナムのかかえている問題が認識できた。私費留学生なので勉強しながらアルバイトをやらないと生活できなくて（ベトナムと日本の物価の差が大きいので仕送りがもらえない）大変だと思うが、日本に留学

の決意を後悔したことは一度もない。

日本留学を終えたあと、ベトナムに帰って、自分の若さ、知識、熱血を国の発展に活かしたいと決めた。それに、勉強好きな若者たちが外国に留学できるように手伝ってあげたい。なぜかという、留学生と留学先の人々が互いのことを理解しあって、国と国の友好関係の懸け橋になるからだ。友好関係があるからこそ、世界の平和と経済発展が維持できると私は思っている。（米山奨学生申込書「小論文」から）

ニコニコボックス

鈴木恭一君・古西弘和君・倉石昌治君

…四之宮ガバナー補佐 グエン・クアン・カンさん
卓話ありがとうございました

渡辺晃君・椎名鎌一郎君

…四之宮ガバナー補佐ありがとうございました
小林定雄君

…ゴルフ会・観月会 ご苦労様でした

青柳誠君

…観月会に参加できませんでした

高田一行君

…観月会 家族皆で出席させて頂きました

行木英夫君

…観月会 ご苦労様でした

川島宥君・内田裕雄君・向後雅生君・秋葉講一君
・杉森幹夫君

…誕生祝ありがとうございました

土屋俊夫君

…観月会プリント代ありがとうございました

本日計	25,000円
累計	282,816円

出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
10月1日	47	29	18	100.0

☆ 欠席したらメーカーアップをしましょう ☆